十二ヶ月

竹内浩三

青空文庫

一月――
凍てた空気に灯がついた
電線が口笛を吹いて
紙くずが舞上った
木の葉が鳴った
スチュウがノドを流れた

二月――
丸い大きな灰色の屋根
真白い平な地面
つけっぱなしのラムプが
低うく地に落ちて
白が灰色に変った

三月――
灰色はコバルトに変り

白は茶色に変った
手を開けたら
汗のにおいが少ししした

四月――
ごらん
おたまじゃくしを
白い雲を
そして若い緑を

五月――
太陽がクルッと転った
アルコホルが蒸発して
ひばりが落ちた
虫が少し蠢いてみて
また地にもぐりこんで
にやりとした

六月――
少年が丘を登って
苺を見つけて
それを口へ入れ
なみだぐんだ

七月――
海が白い歯を見せ
女が胸のふくらみを現す
入道雲が怒りを示せば
男はそっと手をさしのべる
ボートがゆれた

八月――
ウエハースがべとついて
クリームが溶けはじめた

その香をしたった蟻が
畳の間におちこんで
蟻の世界に椿事が起り
蝉が松でジーッとないた

九月――
石を投げれば
ボアーンと響きそうな
円い月が
だまって　ひとりで
電信柱の変圧器に
ひっかかっていた

十月――
ゲラゲラ笑っていた男が
白い歯を収め　笑いを止めて
ひたいにシワをよせ

何事か想い始めた
炭だわらの陰でコオロギが鳴いた

十一月――
空は高かった
そして青かった
しかし　俺はさみしかった

十二月――
ラムプがじーと鳴って
灯油の終りを告げた
凩(こがらし)が戸をならして
「来年」のしのびやかな
足音も聞えた

青空文庫情報

底本：「竹内浩三全作品集　日本が見えない　全1巻」藤原書店
2001（平成13）年11月30日初版第1刷発行
2002（平成14）年8月30日初版第5刷発行
入力：坂本真一
校正：雪森
2014年7月19日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

十二ヶ月

竹内浩三

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/